

No.14 「さくら」

おはようございます。大阪ではコロナの緊急事態宣言が出ています。みなさん、特別重要な用事でないかぎりには外に出ないで、できるだけおうちで過ごしましょう。なお、学校はありますので、がんばって通ってくださいね。

校長先生の声、届いていますか？

今日のお話です。みなさんは、どんな「お花」が好きですか？あるいは、「お花」と聞くと具体的にどんなお花を思い浮かべますか？

日本では昔から、お花というと、基本的には「桜」ということになっています。なぜ春でもないこの季節に桜の話をするかといいますと、先日体育の授業を観た際に、校庭の桜に小さな花芽が育っているのを発見したからなんです。そう、4月ごろに花を咲かせる準備をもう桜の木は始めているのですね。

厳密にいうと、なんと去年の4月に桜の花が散った後、桜はすぐに来年の花の準備をはじめます。そして夏ぐらいまでに、花芽という小さな花のつぼみをつくり、秋になると寒くなるので花の生長は一旦お休みとなります。

そして春になるときれいな花が咲くのですが、なぜ春になると花が咲くのでしょうか？少しまわりの人と聞き合ってみてください。

気温が15度以上、いや20度以上になると咲く？いろいろな意見がでたと思いますが、じつはハッキリしたことはわかっていません。ただ、2月1日から毎日最高気温を調べて、足し算をしていき、その合計が600度を超えると花が咲くことはわかってきました。とにかく温かくなるとすぐに花が咲くのではないということです。

逆にじゃあずっと暖かいと桜の花は咲くのでし

ょうか？そこで桜の木をビニールハウスでかこみ、秋になるとストーブをたいて寒くならないように実験してところ、かわいそうにその桜は春になっても全く花を咲かせなかったそうです。

この実験から、どうも桜の花芽を育てるためには、しばらく寝かしておく寒さが必要だということがわかりました。みなさんもそうですよね。ずっと起きていたら、力がなくなります。毎日ちゃんと寝るから、朝起きて元気に動けるのと同じです。

では、桜の花にとって、朝はいつなんでしょう？春になって温かくなるとすぐに花を咲かせるわけではありません。でも、校長先生がこの間みたように、桜の花芽は少しだけふくらみはじめています。ではいつからこの花芽は膨らむのでしょうか？

それは、不思議なことに桜の木は冬の一番寒い日がわかるそうなんです。今年はたぶんこの間じゃないでしょうか。この大阪でもマイナス2度ぐらいになった日がありましたよね。その日に桜は長い眠りから覚めて、花芽を膨らませはじめるそうです。とても寒い日が桜の花芽に「おきろー！」といって起こす、こんな感じで桜は咲く準備をはじめます。この現象を「休眠打破」と言います。

でも、桜はどうやってこの日が一番寒い日とわかったのでしょうか？また、この先もまだまだ寒い日があるかもしれないのに、どうしてその日を休眠打破の日と決めたのでしょうか？なにか神秘的な力を感じますね。

今は、コロナでいろいろな行事やイベントがストップしています。ちょうど桜の冬の季節と同じで、力をためておく時期かもしれません。いつか必ず春はきます。そのときにしっかり花を咲かせられるよう、いまはがんばって力をためていきましょう。